

新規 申請日: 30 年 5 月 10 日
 変更

レジメン登録申請書

がん(癌)種: 乳癌

申請診療科: 乳腺外科 申請医師: 保科 淑子 内線:

レジメン名称: BC-エリブリン

化学療法委員会医師: 保科 淑子 内線:

	No	薬品名	規格	投与量	投与ルート 手技	点滴時間 速度	day	day	day	day	day	day	day	day	day	day
							[1]	[8]	[15]	[22]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
化学療法 (抗癌剤)	2	ハラヴェン静注1mg 生理食塩液	1mg 50mL	1.4mg/m ² 50mL	点滴静注	全開で	○	○	×	次クールへ						
	<p>患者の選択 以下の患者には慎重投与 ・骨髄抑制のある患者 ・肝機能障害のある患者(減量を考慮) ・腎機能障害のある患者 ・高齢者 投与開始基準 各サイクル1週目・2週目 好中球数1,000/mm³以上 血小板75,000/mm³以上 非血液毒性 Grade2以下 投与再開基準 1週目 投与開始基準まで回復したら投与を開始 2週目 投与延期後1週間以内に投与開始基準に回復したら減量して再開 休業基準 2週目 投与延期後1週間以内に投与開始基準まで回復しない場合、休業</p> <p>減量基準 ・7日を超えて継続する好中球減少(500/mm³未満) ・輸血を要する血小板減少(50,000/mm³未満) ・発熱又は感染を伴う好中球減少(1,000/mm³未満) ・Grade3以上の非血液毒性(適正使用ガイド参照) ・血小板減少(25,000/mm³未満) ・副作用により2週目に休業した場合</p>															
補助療法	1	デカドロン注 生理食塩液	1.65mg 50mL	6.6mg 50mL	点滴静注	全開で	○	○	×	次クールへ						
	<p>減量の目安 1.4mg/m² ⇒ 1.1mg/m² 1.1mg/m² ⇒ 0.7mg/m² 0.7mg/m² ⇒ 投与中止を考慮</p>															

上記で使用する抗癌剤情報

No	薬品名	規格	標準値	上限値	累積 投与量

サマリーコメント(申請理由・趣旨)

アントラサイクリン系抗悪性腫瘍剤及びタキサン系抗悪性腫瘍剤を含む化学療法を施行後の増悪もしくは再発例を対象とする

適応外で、倫理委員会・医学研究等の承認を得た場合は資料を添

2 週投与	1 週休業	委員長	事務局	薬剤部
1クールの日数: 21 日	レジメン基準日: day 1			

※抗癌剤の標準値と上限値は必ず記入して下さい注意: 同一処方内容の場合でも投与時間が異なるときは別のNoに記載してください

※単位はmg/m², mg/body, mg/kg

1クールの日数とレジメン基準日は必ず記入して下さい

化学療法委員会 平成 22 年 9 月 2 日作成

新規 申請日: 30 年 5 月 10 日
 変更

化学療法治療計画書(プロトコル)

がん(癌)種: 乳癌

実施診療科: 乳腺外科 保科 淑子 内線:

レジメン名称: BC-エリブリン

クール数: 1 2週投与 1週休薬 身長: cm

1クールの日数: 21日 体重: kg

患者ID: 患者氏名:

実施部署: レジメン基準日: day 1 体表面積: m²

実施日						月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
No	薬品名	規格	投与量	投与ルート 手技	点滴時間 速度	day (1)	day (8)	day (15)	day (22)	day ()	day ()	day ()	day ()	day ()	day ()
1	デカドロン注	1.65mg	6.6mg	点滴静注	全開で	○	○	×	次クールへ						
	生理食塩液	50mL	50mL												
2	ハラヴェン静注1mg	1mg	1.4mg/m ²	点滴静注	全開で	○	○	×	次クールへ						
	生理食塩液	50mL	50mL												
3	生理食塩液	50mL	50mL	点滴静注	全開で	○	○	×	次クールへ						
化学療法 (抗癌剤)															